

はむらZOO



とびっくす



2012年新春号

シロテナガザルの「キンキン」到着

「おかゆ」のおむこさんとなる予定の「キンキン」が宇都宮動物園からやってきました。

「キンキン」は、2004年11月3日生まれで現在7才です。「おかゆ」のお父さんである「ちゃ」(26才)と比べると、まだ幼さが残るかわいい顔をしています。

宇都宮動物園では家族と一緒に過ごしていましたが、当園に来てからはすぐに新しい環境にも慣れ、飼育員の呼びかけに反応したり、食事の時間になると寄って来たいします。最近では、「ホウ、ホウ～」と鳴いている事もあります。

「おかゆ」



健康診断のための検査と、羽村市動物公園にもっと慣れてもらうため、しばらくの間は展示しませんが、1月下旬には展示の予定です。その間に、「おかゆ」と一緒に快適に過ごせるようにテナガ舎の大改修を行っています。

「キンキン」



「ちゃ」



作品展示中

秋の写生コンクール



幼児の部 園長賞

川口 真央 さん

小学生の部 園長賞

ふるかわ ゆうき さん

幼児と小学生を対象として行った秋の写生コンクールには309点の応募があり、その全作品をスタテイルームに展示しています。

応募者の描いた園内の動物などをご覧下さい。

＜展示期間＞

2012年3月31日(土曜日)まで



おめでとございませす！

その他、金賞・銀賞などの各賞があります。

しばふ広場の 土管ペイント

しばふ広場にある大きな土管。
女性ボランティアの皆さんが、カ
ラフルにペイント中です。



フレーリードッグの 新しいお嫁さん

千葉市動物公園から、メスのフレーリード
ッグがお嫁にきました。

これでオス1頭、メス3頭と一緒に生活し
ます。他にオス4頭がおり、全部で8頭です。



タツ年生まれの動物たち

今年の干支はタツ。しかし、動物園にタツはいま
せんので羽村市動物公園にいる、タツ年生まれの動
物をご紹介します。

1988年生まれ(24才)



ホオカザリツル (メス)
「タキ」
3月8日

ロバ (メス)
「アヤメ」
6月21日



← 飼育員
(サバンナエリア)
「小磯」

見かけたら、気軽に
声をかけて下さい!

飼育員 →
(バードエリア)
「高橋」



2000年生まれ(12才)



キン (オス)
「タクロウ」
3月24日

ワライカワセミ (オス)
「ジャック」
6月15日



ワオキツネザル (メス)
「スー」
10月21日

ワオキツネザル (メス)
「うすちゃ」
11月3日



フンボルトペンギンの

赤ちゃん

フンボルトペンギンの赤ちゃんが12月15日から次々に、ふ化しています。11月頃から、巣作りに夢中でなかなか餌を取りに来てくれなかった親ペンギンたち。



現在5羽のヒナが誕生しています。

お腹の下で温めていた卵から、無事に子ペンギンが出てくると、食欲も旺盛になり、一生懸命子育て中です。



親ペンギンのお腹の下で温められています。

どれが子ペンギンかわかるかな？



日本鶏の仲間入り

桐生が岡動物園からトウマル(蜀鶏)3羽、富山市ファミリーパークからカワチヤッコ(河内奴鶏)2羽が仲間入りしました。

日本鶏とは日本固有の鶏をいいますが、そのうちトウマルやカワチヤッコを含む17種が天然記念物に指定されています。これらは、数百年から数千年以上の年月をかけて、改良され特色ある品種としてつくられたものです。



トウマル

羽村市動物公園では、天然記念物に指定されている17種の日本鶏のうち、14種を飼育しています。



カワチヤッコ(オス)

天然記念物とは、文化財保護法に基づき国(文部科学大臣)が指定する動物や植物、地質鉱物で日本にとって学術上価値の高いもののことをいいます。その中でも特に重要なもので、特別に指定されたものを「特別天然記念物」といいます。



土佐のオナガドリはトキヤカモシカ、タンチョウ、オオサンショウウオと同じ特別天然記念物です。



カワチヤッコ(メス)



動物たちの病気の予防のひとつ



毎日、餌を食べるところや体全体の肉つき、毛ツヤなどを観察して、いつもと違うことがあればなにか原因が確かめます。見た目ではわかりにくい鳥の仲間などは時々体重をはかったいもします。

みなさんが冬になるとインフルエンザの予防接種を受けるように、年に1回、病気にならないようにワクチンを打っている動物たちもいます。

小さなお子さんと同じように、動物には病気をふせぐために注射されているということがわからないので、おとなしくしてもらい、注射を打つのは難しいです。ときには吹き矢で注射器を飛ばしてワクチンを打つこともあります。

もし予防接種をしていなくて感染してしまったら、助からない病気もたくさんあります。動物園で1日でも長く元気に暮らしてもらうために、予防接種は大変大切です。

ちなみに当園でワクチンを打っているのはニホンザル、ミニフタ、ネコの仲間(サーバル・カラカル・オオヤマネコ)、イヌの仲間(オオカミ・タヌキ・フェネックギツネ)、ニワトリなどです。

シベリアオオヤマネコのワクチン接種の様子



棒に付けた餌

吹き矢



「チッブ」(オス)

童話の新しい展示施設

「オオカミと七匹の子ヤギ」

ヤギが展示されているふれあいコーナーでは、童話「オオカミと七匹の子ヤギ」をテーマにした新しい展示施設を作っています。

この展示施設は、東京コミュニケーションアート専門学校(通称コミュア)の学生の皆さんと動物園の職員が一緒に作っています。

童話に登場する、オオカミやコヤギが隠れる時計・テーブル・ベッドなど手作りで制作中です。



シベリアオオヤマネコの「チッブ」はとても警戒心が強く、吹き矢を向けるとネコパンチで、はじき飛ばしてしまうことがありました。

おとなしく吹き矢によるワクチン接種を受けてもらうために、餌を棒の先に付けて与えるといったトレーニングをし、今ではおとなしくワクチンを受けるようになりました。

シマハイエナ 同居中



シマハイエナの「ダンキチ」と「ヨウコ」のお見合いを始めました。ときどき、じゃれ合ったり、仲良く寄り添って昼寝をしたりしています。

シマハイエナの妊娠期間は約90日。うまくいけば、4月頃にシマハイエナの赤ちゃんが見られるかもしれません。

※展示動物、催事他、天候や動物の体調などにより変更、中止となる場合があります。

はむらZOO とぴくす
羽村市動物公園 編集発行
平成24年1月10日発行
〒205-0012 東京都羽村市羽4122番地
TEL 042-579-4041 FAX 042-579-1619
Eメール hamura-zoo@t-net.ne.jp

